

## 第2学年1組 国語科学習指導案

指導者 鹿南中学校 教諭 松永 尚子

1 題材 「効果的な話し方をしよう」(新しい国語2 東京書籍)

2 題材について

(1) 題材観

人に何かを説明するとき、なかなかうまく伝わらなかったり、説明が長くなったりすることがある。しかし、伝えるための方法や技術を学ぶことで、人前で話すことにも自信をもつことができる。

本題材は、「企画を練る」「計画を立てる」「進行表を作る」「リハーサルをする」「プレゼンテーションをする」と段階を追って構成されている。プレゼンテーションという方法を用いることで、効果的に伝える知識を学び、技能を高めていくことができる題材である。班や学級で話し合いながら進めていくことで、伝え合う力を高めることに適している。

(2) 系統観 (\*は光村図書での学習)

		1年	2年	3年
【聞くこと】 対話の活動	学習 内容	「聞き上手になろう」 ・正しく聞く	「聞き上手になろう」 ・吟味して聞く	「聞き上手になろう」 ・創造的に聞く
	学習 目標	場面に応じた聞く力を養う	問題意識をもって相手の話を聞く力を養う	自分自身の考えを広げながら話を聞く力を養う
【話すこと】 説明・発表 の活動	学習 内容	「分かりやすく話そう」 *資料を活用して発表しよう 100秒スピーチをしよう	◎「効果的な話し方をしよう」(本時)  三分間スピーチをしよう	「説得力のある話し方をしよう」  自己PRスピーチをしよう
	学習 目標	聞き手に伝えたいことを分かりやすく話すための話し方を学ぶ。	相手に効果的に伝えるための話し方を学ぶ。	相手を納得させるための話し方を学ぶ。
【話し合うこと】 討論の活動	学習 内容	「話し合いでアイデアを出し合おう」 *意見交換会をもとう	「立場を決めて話し合おう」	「話し合いで問題を解決しよう」
	学習 目標	アイデアを出すための話し合いの仕方を学ぶ	立場の違いを明確にして話し合うことで、考えを深めていく	問題を解決するための話し合いの仕方を学ぶ
関連する言語事項 発声講座	学習 内容	「声に表情をつけよう」	「空間や人数に合わせよう」	「発声の上達を目指そう」

(3) 生徒観 (男子20名、女子18名、合計38名)

事前のアンケート調査の結果は以下のとおりである。(%)

【話すことに関して】

○ 授業の中で、自分の意見をきちんと発表できている生徒は半数で、半数はあまりできないと感じている。また、発表するとき気を付けていることは、声の大きさ(67%)・話す速さ(56%)・話すときの視線(18%)・自分のしぐさや身ぶりなど(6%)・話すときに最初に結論を言う(39%)・話すときに項目を言う(35%)である。話すときに、効果的に伝わるように意識している生徒は少ない。

【聞くことに関して】

○ 人の話を聞くときに気を付けていることは、最も言いたいことは何か聞き取ろうとしている(82%)・自分の考えと比べながら聞いている(52%)・批判的に聞いている(42%)である。

【話し合いに関して】

○ 話し合いのとき、気を付けていることは、相手の目を見て話す(28%)・相手の目を見て聞く(41%)・自分の意見が相手に伝わっているか気にしている(59%)・相手の意見を受けて自分の意見を話している(56%)である。

【プレゼンテーションに関して】

○知っている(0%) 聞いたことはあるが知らない(84%) 聞いたことがない(16%)  
プレゼンテーションは、昨年度の総合的な学習の時間の発表会で、全員が経験している。しかし、「どのようなものがプレゼンテーションか」とか「効果的なプレゼンテーションの方法はどんなものか」について、十分な学習はしてはいない。

(4) 指導観

今回の学習では「小学6年生への説明会で、中学校生活を紹介しよう」というテーマで、プレゼンテーションを考えさせることで、相手意識や目的意識をもたせる。また、テーマについて自分なりに考えたものを、班を用いて話し合わせたり、班ごとにアドバイスをしあったりすることで、より効果的なプレゼンテーションができるようにする。

### 3 研究テーマ（部会）との関連

#### 【「話すこと・聞くこと」部会テーマ】

友達の意見を受けて、話す（話し合う）ことができる生徒を育てるための手だての工夫

#### (1) 基礎・基本の徹底

##### ① 「話すこと・聞くこと」トレーニング

・授業の最初に、コラムについての自分の考えをもち、3人の班で話し合う。

##### ② 教科書の基礎・基本の分析

・生徒に分かりやすい形にして、本時のねらいを示す。本時では、リハーサルをチェックするポイントを示す。

#### (2) 授業づくりの工夫

##### ① 「話すこと・聞くこと」について、関心・意欲・態度を高める工夫

・生徒の身近なところからテーマを設定する。

##### ② マニュアルに沿った「話す」から、実践的な「話し合う」へステップを踏んだ授業の工夫

・友達の意見を受けて話し合うパターンの練習をもとに、班での話し合いの充実を図る。

・原稿を見て話すことから、メモ程度で話せるようにする。

#### (3) 評価の工夫

##### ① 評価形態の工夫

・1シートに1題材の自己評価により、単元を見通せるようにする。

##### ② 評価の観点の工夫

・1時間の授業の目標と関連づけて評価する。

### 4 学習指導の目標

◎ 相手に効果的に伝えるための話し方を身につけさせる。

Aーウ

○ プレゼンテーションを用いて、身ぶりや時間配分、資料の提示などを工夫させる。

Aーイ

○ 相手意識をもって話させる。

言(1)ーエ

### 5 指導計画（4時間取り扱い）

時数	学 習 活 動	評 価 基 準	評価方法
1	・プレゼンテーションの目的やポイント、プレゼンテーションのやり方を知る。 ・自分で企画を考え、シートに書く。	・プレゼンテーションのやり方を理解し、意欲をもって取り組んでいる。 ・自分なりのプレゼンテーションの計画を立て、小学6年生に分かる言葉で、シートに書いている。	観察 学習シート
1	・自分のアイデアを班で出し、話し合う。 ・班で話し合い、班のプレゼンテーションを決め、練習する。	・班で自分の考えをだし、相手の話に同意や質問、反論をしながら話し合っている。 ・意欲的に練習している。	学習シート 観察
本時 1	・代表の班のリハーサルを見て、改善点を話し合い、自分の班の発表に生かす。	・話の中心をとらえてメモをとり、改善策を考えて話し合いに参加している。	学習シート 観察
1	・プレゼンテーションを行い、相互評価と自己評価をする。	・最も言いたいことを効果的に伝えている。	観察・学習シート

### 6 本時の学習

#### (1) 本時の目標（3／4）

プレゼンテーションのリハーサルを見て、改善点を話し合うことができる。

#### (2) 評価

評価項目	評 価 基 準	つまずきへの手だて
関心・意欲 ・態度	チェックポイントに注意してリハーサルを見て、よい点や改善点をメモしようとしている。	・チェックポイントを掲示し、常に意識できるようにする。
話すこと・ 聞くこと	話の中心をとらえてメモをとり、改善策を考えて話し合いに参加している。・・・B 話の中心をとらえてメモをとり、より効果的に伝えるための改善策を考え、話し合っている。・・・A	・リハーサルを見るときに、チェックポイントについて、○や△をつけさせ、なぜそうなのかをメモするようにする。 ・話し合いの中で、チェックポイントを意識させる。 ・話し合いの形態を、2人組や班で行うことで全員が発言できるようにする。

(3) 展開

過程	徹能	形態	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応
導入 7分	徹底	一斉  一斉	1 話し合いトレーニングをする。 2 本時の目標を知る。	1 話し合いを全員で行っている。 2 よりよいプレゼンテーションにしようとする。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     目標：プレゼンテーションのリハーサルを見て、改善点                 </div>				
展開 3分	徹底	一斉	3 リハーサルの時に注意する点を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">発表の時、どんなことに気をつけなければいけないだろうか。</div>	3 リハーサルでのチェックポイントを全員で確認している。
24分	能動	班 個人	4 リハーサルをし、お互いに見合い、アドバイスをしあう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">チェックポイントに気をつけて、発表し、改善を話し合おう</div>	4 発表する班は時間内にきちんと終わらせようとし、見ている人はチェックポイントについて○△をつけて、改善点も考える。
	能動	班	(1) 4グループ3班ずつに分かれ、お互いに見合う。  (2)アドバイスをする。	
10分	能動	班	5 もらったアドバイスから、自分たちの班へ参考になるものを話し合い、練習をする。	5 班ごとによりよいプレゼンテーションになるように話し合っている。
まとめ 6分	徹底	一斉	6 自己評価と他者評価を行い、まとめと次時の予告を聞く。	6 感想を聞き、次時では全体で発表をすることを知らせる。

教師の指導・支援	評価（評価方法）	備考
<p>○ 発言することへの抵抗をなくし、話し合い活動に意欲を持てるようにする。</p>		<p>板書</p>
<p>を話し合い、発表を工夫しよう。</p>		
<p>[発表の仕方]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間配分、声量、速さ、視線、仕草などの話し方は適切か。</li> <li>・ 立つ位置や配置は適切か。</li> </ul> <p>[発表内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言いたいことが伝わるか。</li> <li>・ 最も伝えたいことが絞られているか。</li> </ul> <p>○ 上の観点で、リハーサルを行い、お互いに見て、指摘できるようにする。</p> <p>○ 気づいたことを発表させ、発表したことに対してアドバイスができるようにする。</p> <p>○ 自分たちの班の発表についてもふりかえるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チェックポイントを意識してメモしているか。（シート）</li> <li>・ 自分の気づいたことを発言しているか。（観察）</li> <li>・ 友達の意見を受けて、自分の意見を発表しているか。（観察）</li> <li>・ 学んだことを班のプレゼンテーションに生かそうとしているか。（観察）</li> </ul>	<p>板書</p> <p>学習シート</p>
<p>○ まとめと自己評価をさせ、次時の発表会への意欲を喚起する。</p>		